静岡大学防災総合センター

Center for Integrated Research and Education of Natural Hazards, Shizuoka University

静岡大学防災総合センター　教員リスト

【センター長・副センター長(部門担当)・専任教員】

	氏名	所属	職名	専門分野
センター長・副担当教員、日本第四紀学会会長	北村晃寿	理学領域 防災総合センター	教授	津波・土石流堆積物、古地震の研究
副センター長(研究部門担当)・専任教員、日本自然災害学会会長	牛山素行	融合・グローバル領域 防災総合センター	教授	自然災害科学、災害情報学、豪雨災害
副センター長(地域連携部門担当)・副担当教員	今泉文寿	農学領域	教授	砂防工学
副センター長(地域連携部門担当)・副担当教員	木村浩之	理学領域	教授	地球微生物学
副センター長(教育部門担当)・副担当教員	小杉素子	工学領域	教授	社会心理学
副センター長(教育部門担当)・専任教員	原田賢治	融合・グローバル領域 防災総合センター	准教授	津波工学、津波防災、海岸工学、水工学

【副担当教員】

※センター長・副センター長を除く

氏名	所属	職名	専門分野
望月美希	人文社会科学領域	講師	社会科学
小林朋子	教育学領域	教授	学校心理学、被災者の心のケア
藤井基貴	〃	教授	教育哲学、道徳教育
佐治 斉	情報学領域	教授	画像処理、交通情報解析
木谷友哉	〃	教授	ITS(高度交通システム)、衛星測位応用
秋元菜摘	〃	准教授	地理学
山本頼弥	〃	講師	教育工学、学習支援システム
生田領野	理学領域	教授	測地学、地震学
石橋秀巳	〃	教授	火山岩石学、実験マグマ学
田阪美樹	〃	准教授	岩石鉱物物理、実験岩石学
三井雄太	理学領域	准教授	地震学、測地学
二川雅登	工学領域	教授	電子デバイス・電子機器
山本裕之	融合・グローバル領域 保健センター	教授	内分泌代謝学、応用健康科学
森 俊明	〃	教授	内科系臨床医学
山本隆太	融合・グローバル領域 地域創造教育センター	准教授	防災教育・地理学
池田恵子	グローバル共創科学領域	教授	社会地理学
石川宏之	〃	准教授	都市計画・建築計画
満下健太	〃	助教	リスク認知・リスク学

【客員教員】

[客員教授]

氏名	所属	専門分野
荒井晃作	東海大学 海洋学部 教授	海洋地質学
池原 研	産業技術総合研究所 招聘研究員	堆積学、海洋地質学
石井輝秋	元東京大学海洋研究所助教授	海底地質学、火山学
石川有三	元産業技術総合研究所招聘研究員	固体地球内部物理学、地震学
石田瑞穂	元防災科学技術研究所研究主監兼フェロー	地震学
板寺一洋	前神奈川県温泉地学研究所長	水文学、温泉学
伊藤 潔	元京都大学防災研究所教授	地震学、固体地球物理学
伊藤谷生	千葉大学名誉教授	構造地質学、変動地形学
井ノ口宗成	立命館大学 政策科学部 教授	災害情報学、復興情報学
岩崎一孝	静岡大学名誉教授	気候学、自然地理学
岩田孝仁	元静岡大学防災総合センター センター長	防災学、地方行政学(防災)
鵜川元雄	日本大学 文理学部 上席研究員	火山学、地球物理学
大谷栄治	東北大学名誉教授	高圧地球科学、鉱物物理学
笠原順三	東京大学名誉教授	地震学、地震探査
風間 聡	東北大学 大学院工学研究科 教授	水文学、河川工学
片田敏孝	東京大学 大学院情報学環 特任教授	災害社会工学
狩野謙一	静岡大学名誉教授	地質学、地質図学
唐戸俊一郎	米国イエール大学 教授	地球科学、地球内部構造
吉川肇子	慶應義塾大学名誉教授	組織心理学、社会心理学
木村圭司	奈良大学 文学部 教授	気候学、地理学
小林 淳	静岡県富士山世界遺産センター 教授	火山地質学
小山真人	静岡大学名誉教授	火山学、地質学、地震火山防災
近藤昭彦	千葉大学名誉教授	地理学、水文学
佐藤興平	元気象大学校非常勤講師	固体地球科学
佐藤 健	東北大学 災害科学国際研究所 教授	建築構造工学、安全教育学
佐藤比呂志	東京大学名誉教授	地質学
鈴木清史	元日本赤十字九州国際看護大学教授	文化人類学
鈴木 款	静岡大学名誉教授	生物地球化学、環境科学
関谷直也	東京大学 大学院情報学環 総合防災情報研究センター 教授	社会心理学
高木朗充	気象庁 気象研究所 火山研究部 主任研究官	火山学
武村雅之	名古屋大学 減災連携研究センター 招聘教員	地震学
千木良正弘	京都大学名誉教授	地すべり
千葉達朗	アジア航測株式会社 先端技術研究所 千葉研究室室長	火山学、地質学、地形学
土屋 智	静岡大学名誉教授	山地水文学、土砂移動学
中井俊裕	静岡大学 サステナビリティセンター 客員教授	エネルギー工学、環境経営
中川和之	元(株)時事通信社 解説委員	災害報道、市民防災
中西利典	ふじのくに地球環境史ミュージアム 教授	地質学
中村和正	浜松医科大学 医学部 教授	ライフサイエンス、放射線科学
楠城一嘉	静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授	地球科学、地震学
橋本 岳	元静岡大学工学部教授	画像計測工学、災害予兆検知
秦 康範	日本大学 危機管理学部 教授	災害軽減工学
林 拙郎	三重大学名誉教授	森林科学、砂防学
林 能成	関西大学 社会安全学部 教授	地震学、地震防災
廣井 悠	東京大学 先端科学技術研究センター 教授	都市防災、都市工学
藤井直之	名古屋大学名誉教授	固体地球惑星物理学
藤岡換太郎	元海洋開発研究機構上席研究員	地質学
本間基寛	日本気象協会 技術戦略室 室長	気象災害リスクマネジメント
前田恭伸	静岡大学名誉教授	リスクアナリシス
増澤武弘	静岡大学名誉教授	植物生態学、植生学
増田俊明	静岡大学名誉教授	構造岩石学、地球進化学
三ケ田 均	京都大学名誉教授	応用地球物理学
三澤 清	浜松医科大学 医学部 教授/地域創成防災支援人材教育センター長	耳鼻咽喉科 頭頸部外科
向井利明	名古屋地方気象台 土砂災害気象官	気象防災、防災気象情報
村越 真	静岡大学名誉教授	統計法、リスク認知、防災教育
森下祐一	元静岡大学理学部教授	岩石・鉱物・鉱床学
矢永誠人	静岡大学 理学部 特任教授	放射線安全管理学
山﨑 登	国士舘大学名誉教授	災害情報学
山田和芳	早稲田大学 人間科学学術院 教授	湖沼堆積学
矢守克也	京都大学防災研究所 副所長/巨大災害研究センター 教授	社会心理学、社会基盤(土木・建築・防災)、防災工学
吉田明夫	元神奈川県温泉地学研究所所長	地球科学
吉野篤人	元浜松医科大学医学部教授	救急医学、災害医療
渡辺俊樹	名古屋大学 大学院環境学研究科 附属地震火山研究センター 教授	物理探査学、地震学

[客員准教授]

氏名	所属	専門分野
菅原大助	東北大学 災害科学国際研究所 准教授	地質学、堆積学
安本真也	東京大学 大学院情報学環 講師	災害情報論、社会心理学 メディアコミュニケーション

[プロジェクト客員研究員]

令和4年度にプロジェクト研究所「未来の社会インフラデザイン研究所（研究代表者：原田賢治准教授）」が設置され、静岡県庁はじめ、県内の大学や企業の方々に、プロジェクト客員教授として参画していただいています。（設置期間：令和4年4月1日～令和10年3月31日）

注:「所属」については、他の機関にも在籍されている場合があります。
「専門分野」については、主要分野を優先して記載しています。

静岡大学防災総合センター

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 大学会館1階
電話：054-238-4502　FAX：054-238-4911
URL：https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/

令和8(2026)年7月作成

目的

静岡大学防災総合センターは、本学における防災教育及び防災科学研究を総合的に展開するとともに、地域と連携して地域の防災体制の向上に資することを目的として、平成20(2008)年度に設置されました。当センターの教育と研究を通して「地域志向大学」として地域社会への貢献を目指します。

防災静岡モデル

防災人材ピラミッド

- カテゴリー1：防災実務者を指導できる専門的実務者・研究者
- カテゴリー2：広域・複数災害に対応できる防災実務者
- カテゴリー3（静岡県防災フェロー）：特定地域・特定災害に対応できる防災実務者（大学卒業レベル）
- カテゴリー4（静岡県防災マイスター）（静岡県防災士）：一通りの体系的防災知識を有する人材（教養課程レベル）
- カテゴリー5：防災に理解のある者（一般市民レベル）

静岡大学

【研究の役割】
地域密着型の防災研究の高度化
静岡県等の津波堆積物・津波災害の研究
富士山・伊豆半島の火山学・火山防災学的研究
南海トラフ地震に関する基礎研究
自然災害による人的被害に関する基礎研究
災害情報の利活用・避難行動に関する研究
防災教育・こころのケアの研究　等

【人材育成の役割】
特定の地域、災害に対応できる防災専門家の育成「大学卒業レベル」（静岡県防災フェロー養成講座）静岡県との連携事業
修了生は、静岡県から「静岡県防災フェロー（県知事認証）」に認定される。
体系的防災知識を有する人材の育成「教養課程レベル」（静岡大学防災マイスター称号制度）静岡県との連携事業
プログラム修了生のうち、県が行う認定講座を受講した者は、「静岡県防災マイスター（県知事認証）」に認定される。

【地域連携の役割】
各種公的委員会への参画による専門的知見の提供
新聞・テレビ等メディアへの積極的な協力による防災知見の普及
一般向け防災講演への協力、シンポジウム開催・共催による研究成果の普及

連携・共同

静岡県危機管理部

【研究の役割】
地域のニーズに応じた共同研究
【人材育成の役割】
体系的防災知識を有する人材育成「教養課程レベル」（静岡県防災士）
防災に理解のある人材の育成「一般市民レベル」
【その他の役割】
静岡県民への防災知識普及活動
施設面（ハード）の充実

県内外の各種機関

浜松医科大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、東海大学、常葉大学、静岡理工科大学、静岡県教育委員会、静岡地方気象台、県内報道機関
岐阜大学、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、三重大学

(一社)美しい伊豆創造センター

【研究の役割】
ジオパークサイトの学術的研究
地震・火山活動の即時被害把握の研究
【人材育成の役割】
専門知識をもつジオパークガイドの育成（教養課程レベル）
【その他の役割】
住民・観光客への防災知識普及活動

※従来の連携組織「伊豆半島ジオパーク推進協議会」は、令和4(2022)年度から「一般社団法人美しい伊豆創造センター」に組織統合されました。

効果

防災先進地である静岡県において、官学民が、連携・共同し作り上げる、災害に強い社会構造「防災静岡モデル」の構築・発信

最新の防災知見を地域社会が共有するだけでなく、全国へ発信

「防災静岡モデル」が日本の地域防災の方向性を提示・牽引

※「防災静岡モデル」は、静岡大学防災総合センターが概念図として示したものです。

本センターには3部門があり、下記に掲げる業務を行います。

教育部門
- 学内の防災教育の充実及び推進
- 防災教育方法及び防災教育教材の開発並びにその検証
- 県民、学童等を対象とした防災教育の充実

研究部門
- 学内の防災科学研究の充実及び推進
- 防災科学研究に係る学内関係部局の連携
- 防災に関連する知識及び研究情報の収集並びに発信

地域連携部門
- 防災教育及び防災科学研究における国、地方公共団体、防災関係機関等との連携
- 防災教育及び防災科学研究における他大学等との連携
- 災害時における本学及び地域の危機管理能力の向上

研究成果等の展示・掲示ー大学会館1階ー

本センターがある大学会館1階(静岡キャンパス)では、防災に関連する最新の研究成果をはじめ、防災関連書籍や広報物、新聞記事などの展示・掲示をしています。

また、防災教育プログラムの案内や、地震の揺れを震度別にイラストで紹介するなど、防災知識の普及・啓発につながる様々な情報を提供しています。

[令7.11 キャンパスフェスタ]

特色ある取組

静岡大学防災マイスター称号制度　静岡大学特別教育プログラム

本学学生を対象に、所定の授業科目を修得することで、「静岡大学防災マイスター」の称号を授与しています。

さらに、本学の防災マイスター取得者は、一定条件を満たすことにより、静岡県知事認証「静岡県防災マイスター」の称号を取得できます。

オープンバッジ（電子証明書）

【静岡大学防災マイスター】災害時に自己・他者の生命を守り災害後の生活を保全する力
- 防災上の知識とスキル
- 災害についての社会科学的知識（社会的影響・情報リテラシー・リスクコミュニケーション等）
- 災害についての自然科学的知識（自然災害発生のメカニズム等）

静岡県防災フェロー養成講座　履修証明プログラム

静岡県と連携し、「静岡県防災フェロー養成講座」を開講しています。

自治体や企業等で災害に関する実務に従事している方を対象に、災害発生後の「危機管理ノウハウ」にとどまらず、災害の事前予防を目指し、地域の災害特性を理解し、災害に関わる科学的情報を読み解ける、実践的応用力を身につけた人材を育成しています。

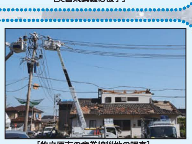
修了生には静岡県より「静岡県防災フェロー」の称号（知事認証）が付与されます。

[実習系講義の様子]

防災科学研究の推進

地震災害、津波災害及び風水害に関わる基礎研究、富士山・伊豆半島の火山学・火山防災学的研究、災害情報に関わる研究など、様々な角度からの災害・防災に関する研究を推進しています。

[1944年昭和東南海地震の家屋倒壊多発地の地盤調査]



[牧之原市の竜巻被災地の調査]

研究成果の活用

「静岡の大規模自然災害の科学」を編集し、静岡大学防災マイスター称号制度に係る授業の教科書としているほか、「支援者のための災害後のこころのケアハンドブック」は、被災地からの要望を受けて無償で送付し、活用されています。また、市民向けのシンポジウムなども開催しています。

[研究成果をまとめた書籍類]

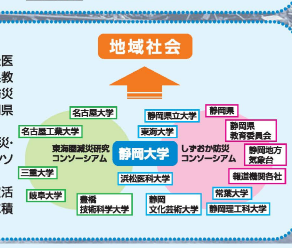
[シンポジウム「レジリエント社会の構築 南海トラフ巨大地震への備え」(令7.11)]

地域との連携・協働

静岡県では、静岡県を中核に県内国公私立大学(静岡大、浜松医大、静岡県立大、静岡文芸大、東海大、常葉大、静岡理工科大)、県教育委員会、静岡地方気象台及び報道機関各社からなる「しずおか防災コンソーシアム」が設立され、防災に関する啓蒙活動として、静岡県防災学講座(一般市民対象:年10回)などを開催しています。

また、東海圏に位置する、静岡大学を含む国立大学7大学の防災・減災関連センターが協力・協働する場として、「東海圏減災研究コンソーシアム」が設立されています。

このほか、各教員が防災に関する公的委員会への参画や講演活動、新聞寄稿、テレビ出演など多数行い、地域社会の防災力向上に積極的に寄与しています。



※本センターの事業「南海トラフ巨大地震想定地域の課題解決を目指した中核的防災人材等の育成と防災研究の推進」に、第四期中期目標・中期計画（令和4～9年度）のミッション実現加速化経費が予算措置されています。